

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 32

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		ホタテ漁場中間育成施設整備事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		水産係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	課長補佐兼水産係長	
		氏名	石井 弘道		氏名	大石 嗣夫	
事業の概要	時化の影響を受けやすい水深4.2m以浅の漁場を放棄し、既存の放流漁場に隣接する水深5.2mまでの沖合いに7,965haの代替漁場を新たに造成する。又、新たな漁場については、ホタテ貝の生息環境を改善するため漁場耕耘を実施する。更に、重複する既存のホタテ中間育成施設についても沖合いに再配置する。					全体計画 (平成 20 年度 ~ 23 年度)	
						国・道支出	349,205 千円
						地方債	千円
						その他	千円
						一般財源	87,654 千円
					事業費計	436,859 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()			
第5期総合計画(前期)		登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～					
	基本施策	3 水産業の振興					
	単位施策	1 水産資源の保護・増大					
	事務事業の種類	自治事務	法定受託事務				
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	120,455 千円	113,869 千円	74,540 千円	33,624 千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額(一般財源)	30,183 千円	28,569 千円	18,674 千円	8,514 千円	千円	
	合計	150,638 千円	142,438 千円	93,214 千円	42,138 千円	千円	

131

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	低気圧・台風等によるホタテ漁場被害対策	中間育成施設設置個数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	強い水産業づくり(災害対策)によるホタテ資源の保護・増大	中間育成施設設置個数	目標値及び実績値		
			目標年度	平成21年度	
			目標値	87 台	
			実績値	87 台	
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	ホタテ貝漁獲量15,000t体制の確立(安定生産及び安定供給)による漁家経営の安定	新規漁場耕耘面積	目標年度 平成21年度		
			目標値	2,050 ha	
			実績値	2,050 ha	
			達成度	100 %	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
事業実施機関への助成	ホタテ中間育成施設87個の再利用(嵩上げ)、設置及び新規漁場耕耘2,050haに対する補助の実施。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	災害に対応する水産業づくり対策として、新規漁場の造成及び中間育成施設の再編によるホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるものであり、水産業の安定化には必要不可欠な事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	事業計画どおり施行しており、新規漁場造成及び中間育成施設の再編が図られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	資材(ブロック)の再利用等、可能な限り削減している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず加工業者にも影響のあるもので、水産業の安定化には必要不可欠であり、事業主体が全体事業費の約40%を自己財源としている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
ホタテ漁業の振興は、漁業者のみならず、加工業者にも影響のあるものであり、本町の水産業の安定化には必要不可欠な事業である。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続 / 現状維持 本事業は、新規漁場の造成及び中間育成施設の再編整備により、ホタテ資源の保護・増大・安定供給が図られることから、事業終了の平成23年度迄引き続き最優先として実施すべき事業である。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--